

明光電子

顧客の発注効率化を支援

情報と商品 素早く正確に提供



十川 社長

エレクトロニクス商社の明光電子は、数十万点に及ぶ電子デバイス・半導体の在庫を、リアルタイムで管理。常時、正確な在庫数を把握して、顧客に情報とモノを素早く正確に提供する体制を構築している。

こうした中、顧客が効率化の課題の一つとして、発注の一本化を求め、発注が増加しているという。十川正明社長は「迅速な納期を重視した姿勢と信頼が、新しいビジネスの芽となっている」と語る。

十川社長は「当社はトッパーカーの半導体、電子部品を扱うことが基本理念であり、調達力の高さも強みである」として「納期対応」を、最重点に置いている。常時、正確な在庫数を把握。顧客に情報とモノを素早く正確に提供する体制を構築している」と強調する。

同社の独自管理は、入出荷に合わせ、システム上の在庫数と実在庫数を突き合わせる。このシステムにより、迅速な見積もり提出を実現(午前中までの見積依頼は当日中、午後の見積依頼は翌日午前中までに回答)している。さらに、全ての商品をロット管理することで、トレーサビリティや環境負荷物質調査にも対応する。

品質の不具合などの報告には、システムに記録している入荷履歴と出荷履歴を調査。どのロットで入荷したか、どの販路に向けて出荷されたかを追跡できるような仕組みになっている。